

平成28年5月26日

日本M&Aセンター

「第四回バンクオブザイヤー表彰式」2年連続で表彰を受けました！

～ 「情報開発大賞」を受賞！ ～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、M&A業務で提携している株式会社日本M&Aセンター（本社：東京、代表取締役社長 三宅 卓、東証一部上場）より、本日開催された「第四回バンクオブザイヤー表彰式」において、「情報開発大賞」を受賞しました。

「バンクオブザイヤー表彰式」における県内地銀の表彰は当行のみであり、昨年の「アクティベーション賞」に続き2年連続での受賞となりました。

当行は、中堅・中小企業、個人事業主の方の経営課題解決に向けた情報提供・提案等のコンサルティング営業を積極的に展開しております。そのような中で、高齢化の進展等から事業承継の問題を抱えている地元企業へのソリューションの一つとして、M&Aに関する取組みを強化しております。今回受賞しました「情報開発大賞」は、昨年度におけるM&Aの共同受託件数および成約実績が、参加銀行の中でトップクラスであったことが評価されたものです。

当行は、これからも「コンサルティング・バンクの確立」実現に向け、地方創生の理念に基づき、地域のお客さまの高度な経営相談にお応えできるよう取り組んでまいります。

● 「バンクオブザイヤー表彰式」とは

2000年に、全国の地方銀行によるM&A勉強会として「全国金融M&A研究会」が立ち上げられました。同研究会の事務局である日本M&Aセンターとの協業において、顕著なM&A実績・事例、地域貢献を達成した地方銀行を顕彰するものが「バンクオブザイヤー表彰式」です。年1回、プレミアム全国金融M&A研究会として開催されております。

以上



表彰式の会場にて、三宅社長（左）と青柳頭取（右）